

平成15年3月6日

少数台数のリコール届出の公表について（平成15年2月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成15年2月は下記のとおり5件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日本ボルボ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
2月7日	外-997	車名：ボルボ 型式：不明 通称名：ボルボFH12等	73	平成14年4月24日～ 平成14年8月1日
不具合の部位等	走行装置において、前輪ホイール・ハブのセンター・キャップの形状が不適切なものであるため、走行中の振動等で当該キャップが緩むことがあり、そのままの状態で使用を続けると、当該キャップが脱落して他の交通の安全を妨げるおそれがある。			

2. 届出者：株式会社 小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月13日	923	車名：コマツ 型式：W097等 通称名：WA380-5等	29	平成13年5月11日～ 平成14年11月17日
不具合の部位等	灯火装置において、制動灯用電気回路のリレーの接点の通電抵抗容量の設定が不適切なため、制動操作の繰り返しにより接点の表面が荒れ、接点が引っ掛かりまたは固着して、制動灯が点灯したままとなるおそれがある。			

3. 届出者：株式会社 小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
2月13日	924	車名：コマツ 型式：WE305E等 通称名：WA30-5等	24	平成14年11月18日～ 平成14年12月6日
不具合の部位等	動力伝達装置において、ベベルピニオンとプロペラシャフト取付用ヨークとを連結するためのボルトのネジ部の加工方法が不適切なため、ネジ山高さが不足し、プロペラシャフトの引っ張り力に耐えきれずボルトが抜け出し、最悪の場合			

合、ヨーク及びプロペラシャフトが脱落するおそれがある。

4．届出者：ニコルレーシングジャパン株式会社

届出月日	届出 番号	車名、型式、通称名等	対象 台数	輸 入 期 間
2月21日	外 - 1 001	車 名：BMWアルピナ 型 式：GH - GF51 通称名：アルピナロードスターV 8	4	平成14年8月8日～ 平成14年12月12日
不具合の部位等	走行装置において、ホイールボルトの形状および締め付け方法が不適切なため、当該ボルト脱着の繰り返しにより、ホイールに締め付け跡がつき、最悪の場合、締め付けトルクが低下して当該ボルトが緩むおそれがある。			

5．届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出 番号	車名、型式、通称名等	対象 台数	輸 入 期 間
2月27日	外 - 1 002	車 名：ドゥカティ 型 式：ZDMH400AA2B 通称名：999	74	平成14年7月15日～ 平成15年1月14日
不具合の部位等	車体において、後部反射器、番号灯および番号標板を取り付けているナンバープレートホルダーブラケットの強度が不足しているため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の車両振動により当該ブラケットに亀裂が発生し、最悪の場合、ブラケットが破損して後部反射器、番号灯および番号標板が脱落するおそれがある。			

〔参考〕

平成15年2月のリコール届出 総件数		内 訳	
		対象台数1 00台以上	対象台数1 00台未満
国産車	8件	6件	2件
輸入車	8 件	5件	3件
計	16件	11件	5件

合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 森田、広瀬
電話 03 - 5253 - 8111 (代表) (内
線42352・42353)
03 - 5253 - 8597 (直通)